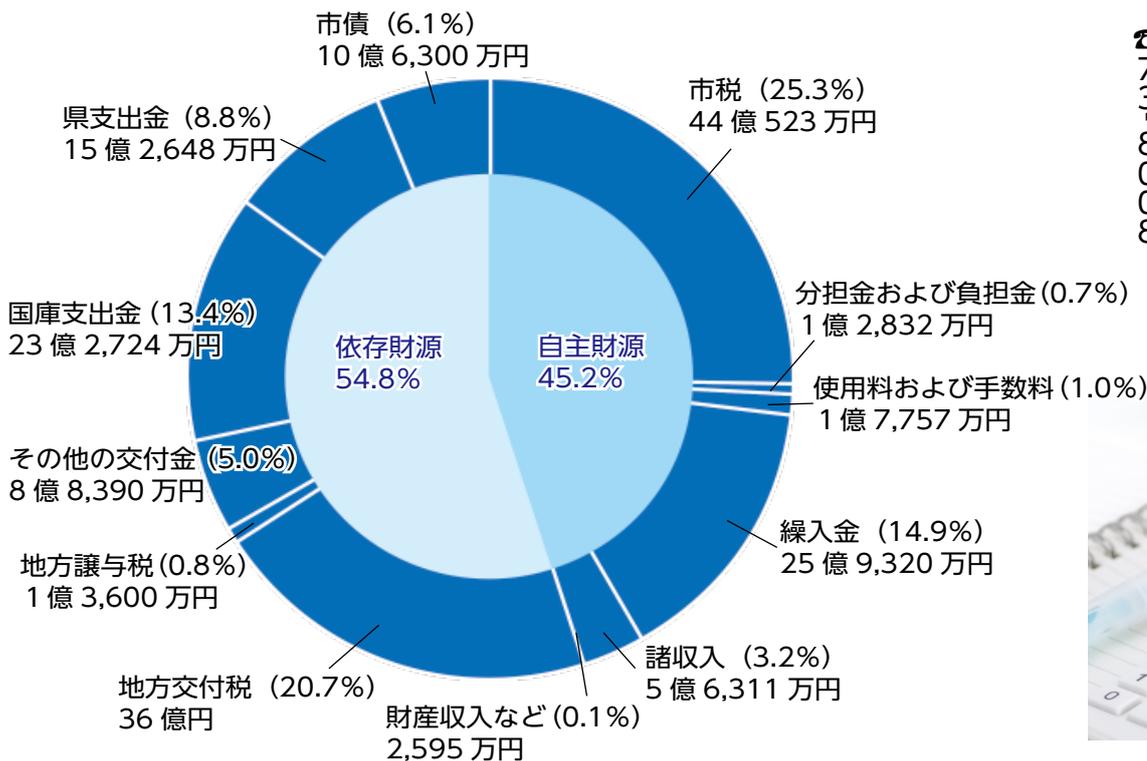


# 令和7年度 あわら市の 予算

問合せ  
財政課 ☎ 73,8008

## 一般会計歳入



## 一般会計当初予算額 174億3,000万円

「暮らしやすくして  
幸せを実感できるまち」  
を目標として

令和7年度一般会計当初予算の総額は、歳入歳出それぞれ174億3,000万円、前年度と比較して19億7,000万円、12・7%の増となりました。

この要因として、竹田川周遊エリア整備事業や中学校体育館空調整備事業の本格化に加え、ふるさと納税寄附額の増加に伴う必要経費の増額が挙げられます。

### 市の貯金 — 財政調整基金

市の貯金である財政調整基金は、令和6年度末で前年と比較して1億円減の37億8,000万円となる見込みです。令和7年度当初予算では、財源不足を補填するため、13億7,000万円の取り崩しを計上しています。

### 市の借金 — 市債残高

市の借金である市債の残高は、令和6年度末で約160億3,000万円となる見込みです。令和7年度当初予算では、10億6,300万円の借入れを予定しており、令和7年度末の市債の残高は、前年と比較して約5億8,500万円減の約154億4,600万円となる見込みです。

## 各会計の当初予算額 (合計 252億9,824万円)

一般会計 174億3,000万円

市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計

芦原温泉上水道財産区水道事業会計 2億4,606万円

芦原地区の特定区域（財産区）の水道事業にかかる会計

特別会計 39億7,950万円

保険料など特定の収入を特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています。

国民健康保険特別会計	29億1,770万円
後期高齢者医療特別会計	4億8,980万円
農業者労働災害共済特別会計	500万円
公共用地先行取得事業特別会計	5億6,700万円

企業会計 36億4,268万円

一般の会社と同じように、独自の収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計

水道事業会計	14億4,023万円
公共下水道事業会計	22億246万円

主な事業の予算額



中学校体育館空調設備工事  
3億 330万円



竹田川周遊エリア整備事業  
1億 3,800万円



ふるさと納税返礼品開発等支援事業  
1億円



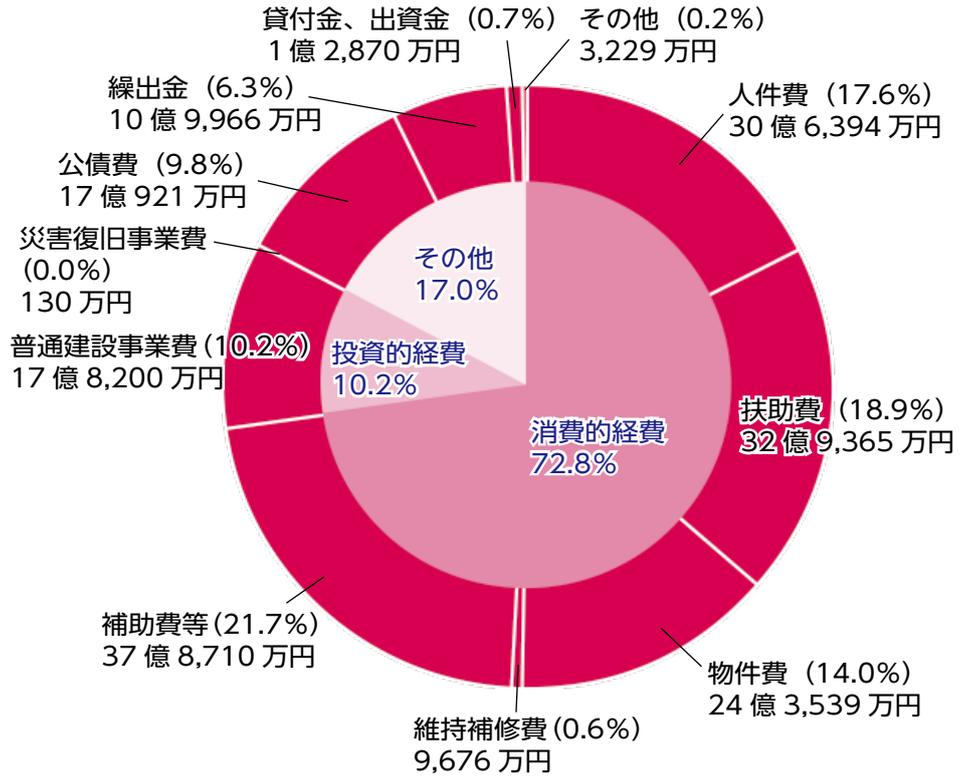
給食費負担軽減事業  
7,555万円



子どもの遊び場整備事業  
1,800万円

※ 画像は全てイメージです

一般会計歳出 (性質別)



家計簿でチェック!

令和7年度の当初予算 174億3,000万円を 3,000分の1に置き換えて家計簿にしました。

1年間の収入合計 約581万円		1年間の支出合計 約581万円	
基本給与 (市税)	146万 8,409円	食費 (人件費)	102万 1,313円
諸手当 (分担金および負担金)	4万 2,774円	医療費 (扶助費)	109万 7,884円
副業収入 (使用料および手数料)	5万 9,191円	光熱水費、消耗品費など (物件費)	81万 1,795円
貯金の取り崩し (繰入金)	86万 4,398円	子どもへの仕送りなど (補助費等)	126万 2,369円
臨時収入など (寄付金、財産収入など)	19万 6,355円	家や車などの修繕費 (維持補修費)	3万 2,254円
親からの援助 (交付税、国県補助金など)	282万 4,540円	家などの増改築 (普通建設事業費)	59万 3,999円
銀行からの借り入れ (市債)	35万 4,333円	借金返済 (公債費)	56万 9,738円
貯金残高 (財政調整基金)	80万 3,334円	貯金 (積立金)	7,430円
借金残高 (市債残高)	514万 8,515円	その他 (予備費、貸付金、繰出金など)	41万 3,218円

収入をみると、昨年より基本給与は増えていますが、貯金の取り崩し額も増えていきます。また、収入の約半分を親からの援助に頼り、銀行からの借り入れも毎年行っている状況です。今後は、借り入れへの依存を減らし、基本給与や諸手当、副業収入の増加に努めていく必要があります。

支出では、食費や医療費、借金の返済など節約が難しい固定的な支出が約半分を占めています。今後数年間はこれまで借り入れた借金の返済額が増加していくため、収支のバランスを取りながら家計をやりくりしていく必要があります。